

# 令和2年度 施策評価シート

## ■第5次粕屋町総合計画の体系

まちづくりの目標 (施策の大綱)	基本目標1 つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち			
	2 地域でともに助け合う安全なまちづくり			
施策名	(1) 災害に強い地域社会の実現			
施策コード	1-2-1	施策構成	4 事務事業	決算額 536,620 (千円)

## ■目標／指標の達成度

基本計画に掲げる目標／指標			単位
①	実感指標	災害用備品を準備している町民の割合	%
②	客観指標	自主防災組織設置率(協働のまちづくり課)	%
③	客観指標	避難行動要支援者のうち、地域支援者が決定している人の割合(協働のまちづくり課)	%
④			

アウトカム／成果目標の進行管理										
	当初値	28年度末	29年度末	30年度末	元年度末	2年度末	目標値	達成度	変更目標値	変更年度
①	18.1	21.7	23.4	24.9	27.6	—	↗	—		
②	45.8	83.3	87.5	91.6	91.6	95.8	100	92%		
③	5.0	4.0	5.7	4.8	4.4	4.1	100	0%		
④										

## ■施策における総括

前年度までの課題	消防団の訓練をさらに充実強化し、団員の消防技術の向上に努める。全ての行政区での自主防災組織の設立を支援するとともに、粕屋町民全体の防災意識の向上を図る。
今年度の取り組み(成果、効果)	消防団の訓練をさらに充実強化し、団員の消防技術の向上に努めるとともに、消防設備の更新を行った。新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、2つの行政区で防災講座を実施し、住民の防災意識の向上に努めた。
次年度以降に改善すべき課題	災害発生頻度の増加が予想されるため、自主防災組織を中心とした住民意識向上のための啓発活動の継続と、防災設備・体制の充実及び要支援者の個別避難計画の策定を進める必要がある。

## ■総合計画の進行管理

(1) 施策実現への取り組み		(2) 施策実現への進捗状況	
	①着実に取り組まれており評価できる。		①計画以上に進んでいる。
○	②取り組まれているが、まだ改善の余地がある。	○	②計画どおり順調に進んでいる。
	③取り組みが不十分であり対策が必要である。		③進んではいるが、スピードが遅い。
	④取り組みがなされていない。		④進捗が見られない、または後退している。